

科目ナンバリング		G-LAS13 80017 LJ90							
授業科目名 <英訳>		公共政策と健康危機管理 Public Policy and Health Security			担当者所属 職名・氏名		医学研究科 教授 今中 雄一 京都大学 未定		
群	大学院横断教育科目群		分野(分類)	健康・医療系			使用言語	日本語	
旧群		単位数	1単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（メディア授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	金4		配当学年	大学院生	対象学生	全学向
(医学研究科の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)									
[授業の概要・目的]									
公共政策の視点から健康危機管理の法制度・理論・実務を理解し、説明し新たな提案ができるようになることを目的とする。 国の危機管理体制と健康危機管理体制、災害対策基本法、災害救助法、感染症法、新型インフルエンザ等対策特別措置法、国際保健規則（IHR:International Health Regulations）、新型インフルエンザ等対策政府行動計画、地方自治体での危機管理体制のしくみと健康危機管理体制、行政各部局による健康危機管理へのかかわり方、健康危機管理体制における行政・公務員、政治・政治家、アカデミア等・専門家の役割などを学ぶ。									
[到達目標]									
行政・政策の第一線で健康危機管理に携わってきた講師陣等の講義をも通して、健康危機管理に関する法制度について、現在の制度や法令等をも学び、様々な知見・考え方、施策・政策を理解し、建設的・生産的に吟味し洞察を深め、説明・提案ができるようになる。									
[授業計画と内容]									
講師陣：福島 靖正 特任教授（ヘルスセキュリティセンター、前 厚生労働省医務技監） 新任教員 （ヘルスセキュリティセンター） 今中 雄一 教授 （ヘルスセキュリティセンター） （各回の講義内容） 第一回 10/ 3(金) 国の危機管理体制と健康危機管理体制 第二回 10/10(金) 災害対策基本法、災害救助法の内容と意義 第三回 10/17(金) 感染症対策における感染症法、新型インフルエンザ等対策特別措置法の内容と意義 第四回 10/24(金) 国際保健規則(IHR)、新型インフルエンザ等対策政府行動計画 第五回 10/31(金) 原子力災害対策特別措置法の内容とその意義 第六回 11/ 7(金) 地方自治体での危機管理体制のしくみと健康危機管理体制 第七回 11/14(金) 健康危機管理体制における行政・公務員、政治・政治家、アカデミア等・専門家の役割 第八回 11/21(金) グループ課題発表とディスカッション 上記の順番等少し変わる可能性があります。初回に予定を説明します。									
[履修要件]									
公共政策大学院および社会健康医学系専攻を含む学内全ての院生。（メディア授業）									
公共政策と健康危機管理(2)へ続く↓↓↓									

公共政策と健康危機管理(2)

[成績評価の方法・観点]

講義・討論・グループワーク・発表等におけるコミットメント（配分60％）、レポート（配分40％）により、総合的に評価する。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
関係法令・指針等
例）
災害対策基本法、災害救助法、
感染症法、新型インフルエンザ等対策特別措置法、
国際保健規則(IHR)、新型インフルエンザ等対策政府行動計画、
原子力災害対策特別措置法
厚生労働省健康危機管理基本指針、など

[授業外学修（予習・復習）等]

本人次第

[その他（オフィスアワー等）]

問い合わせ等は、
医療経済学教室 教務 <heqm-kyoumu(at)mail2.adm.kyoto-u.ac.jp>
へご連絡ください。
面談等希望者は、適宜、教員にアポイントメントをとってください。
メディア授業科目

[主要授業科目（学部・学科名）]